



まつだフォレスト100・プロジェクト ～未来のキミへのギフト～



神奈川県
松田町





松田町について



神奈川県
松田町

【基本情報】

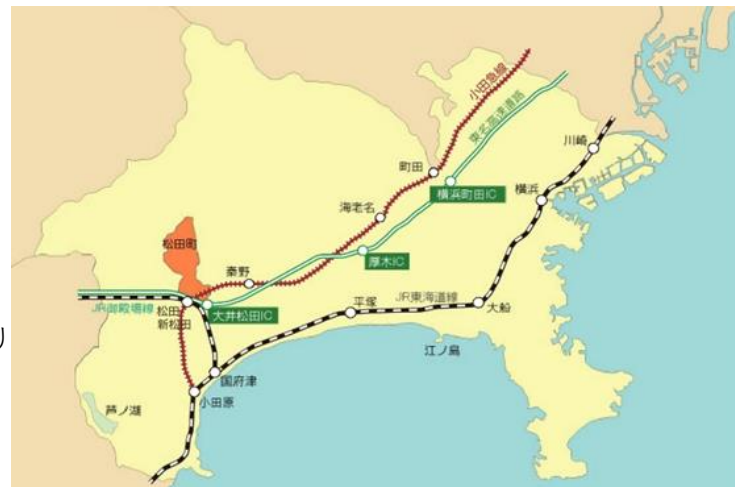
地域特性：本町は、神奈川県西部に位置し、小田急線新松田駅とJR東海御殿場線松田駅の2つがあり、新宿から約1時間程度。東名高速道路の大井松田ICが近接する。

人口：10,680人（2021年4月1日現在）住民基本台帳より

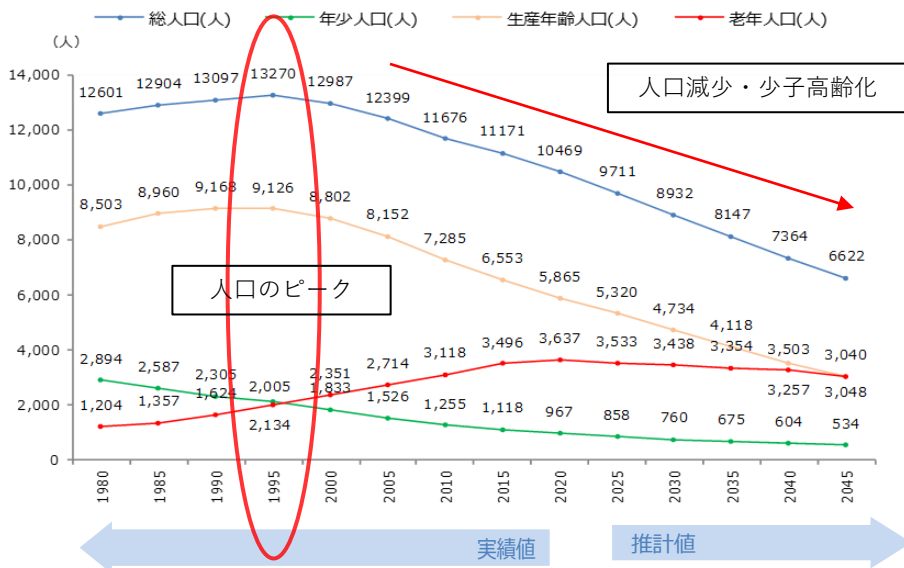
面積：3,775ha（東京ドーム：約800個分）

森林面積：2,852ha（森林の割合：約76%）

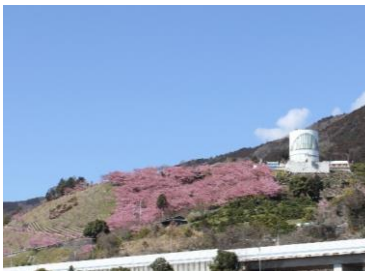
※令和3年度SDGs未来都市選定（神奈川県下6番目、県下町村初）



豊富な観光資源等を有する松田町



※出典：地域経済分析システム RESAS（2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値）



左列：まつだ桜まつり
中央：ジビエ加工品（※イメージ図）
右列：寄ロウバイまつり



松田町が抱える課題



神奈川県
松田町

経済

地域における 産業・経済の停滞

企業数及び事業所数は年々減少傾向にある。それぞれ、**約20%～25%ほど減少**している。従業者数については、一時増加したが、現在は減少している。

※出典：地域経済分析システム RESAS
2009年～2016年にかけて

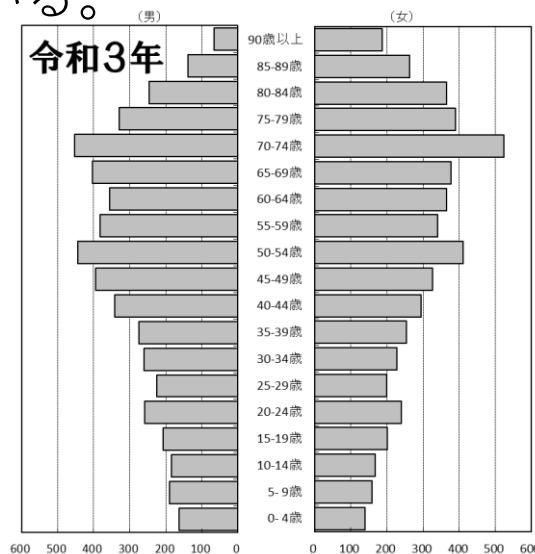


(新松田駅周辺)

社会

人口減少による 担い手の減少

少子高齢化による人口減少に伴い、森林整備等の事業承継及び担い手の不足により、耕作放棄地の増加や森林荒廃が進んでいる。



環境

CO₂排出増加に伴う環境問題

地球温暖化の影響による、豪雨及び台風などにより自然災害が多発することで土砂崩れなどの災害が起こりやすくなっている。



(令和元年台風19号による被害)



モデル事業概要



神奈川県
松田町

経済



【課題】『地域における産業・経済の停滞』

- ①-1 SNSやデータを活かした地域の魅力づくりの推進
- ①-2 森林資源を活かした経済好循環の創出

環境面の相乗効果③-1
ソーラーシェアリング等における経済循環

経済面の相乗効果①-2
木質バイオマス利用におけるCO₂排出削減

経済面の相乗効果①-1
魅力の創出
来訪者数増加

社会面の相乗効果②-1
移住者の増加に伴う
社会的人口増加



社会

【課題】『人口減少による担い手の減少』

- ②-1 ICTの活用を含めた環境教育の推進
- ②-2 COOL CHOICE事業等、社会運動の推進

環境面の相乗効果③-2
環境保全活動へ参加者増加
地域コミュニティの強化

社会面の相乗効果②-2
電気自動車購入・
省エネ設備導入の促進

まつだフォレスト100・プロジェクト

まつだSDGsプラットフォーム(仮称)

- ・人と人を繋ぐマッチングサービスの展開
- ・活動の見える化をすることで地域課題意識の向上

ポイント
システム

リサイクル
システム

- ・ペットボトル1本につき1ポイント付与
- ・1ポイント1円換算で地域内で利用

＜三側面をつなぐ統合的取組＞

環境

【課題】『CO₂排出増加に伴う環境問題』

- ③-1 再生可能エネルギー及び省エネ設備導入の促進
- ③-2 持続可能な自然環境づくり





三側面の取り組み①



神奈川県
松田町

経済

<地域における産業・経済の停滞>の解決策

①－ 1 『SNSやデータを活かした地域の魅力づくりの推進』

深刻化している有害鳥獣被害への対応とジビエの商品化など特産品開発に対する補助及び松田ブランドの認定を行うことで地域産業の活性化や雇用を創出、来訪者の増加を図ることで好循環を創出する。

①－ 2 『森林資源を活用した経済好循環の創出』

公共施設に導入した木質バイオマスボイラーで使用する薪の生産を町内で行うとともに、薪の端材などを活用した特産品の開発を推進することで、経済の地域循環及びCO₂排出削減を行う。



松田ブランド第1号
サクラマスの燻製



三側面の取り組み②



神奈川県
松田町

社会

<人口減少による担い手の減少>の解決策

②－１『ICTの活用を含めた環境教育の推進』

松田町が有する豊かな森林などの自然環境を活用したフィールドワークや体験学習のプログラムなど環境教育を展開し、地域への愛着や郷土愛の醸成することで、移住者などの社会的人口増加を図る。

②－２『COOL CHOICE事業等、社会運動の推進』

2016年度から実施しているCOOL CHOICE事業を継続し、電気自動車の購入や省エネ設備の導入促進・再生可能エネルギー利用・ごみ減量化など二酸化炭素排出削減に繋がる取り組みを実践し、担い手の増加を図る。



全国で3例目の木造の
松田小学校





三側面の取り組み③



神奈川県
松田町

環境

< CO₂排出増加に伴う環境問題 > の解決策

③－ 1『再生可能エネルギー及び省エネ設備導入の促進』

公共施設に再生可能エネルギーの利用設備を積極的に導入、住宅用太陽光発電システム等の設置や、電気自動車の購入等に対する補助の実施。民間事業者と連携しソーラーシェアリングの導入を進め再生可能エネルギーの利用促進を加速させる。

③－ 2『持続可能な自然環境づくり』

誰もが身近に親しめる自然空間として、人と自然が形成してきた里地里山環境を保全する。

森林の除伐や間伐、造林の支援や啓発活動を進める。





三側面をつなぐ統合的取り組み



神奈川県
松田町

まつだフォレスト100・プロジェクト

～100年後も持続可能な杜(町)を目指して～

まつだSDGsプラットフォーム（仮称）

- 地域課題解決に向けた活動を行う“人”と、“活動”を「ヒト・モノ・カネ・チエ」の面で支援する“人”とのマッチングをデジタル化にて行うプラットフォームの構築及び提供
- 活動の内容や成果の「見える化」を図り、意識向上につなげ目指す方向性の統一性を図る
- 町民や包括連携協定締結企業等がそれぞれの立場で協力し合う協働のまちづくりにより、「誰一人取り残さない！笑顔あふれる幸せのまち松田」を実現する

ポイントシステム

- SDGsの取り組みに参加すると、参加状況や到達度に応じて「達成ポイント」の付与
⇒実践例：ペットボトル回収機
- 1ポイント＝1円で最終的に地域内の店舗において還元できる仕組み作りを行い地域内好循環を創出する

リサイクルシステム

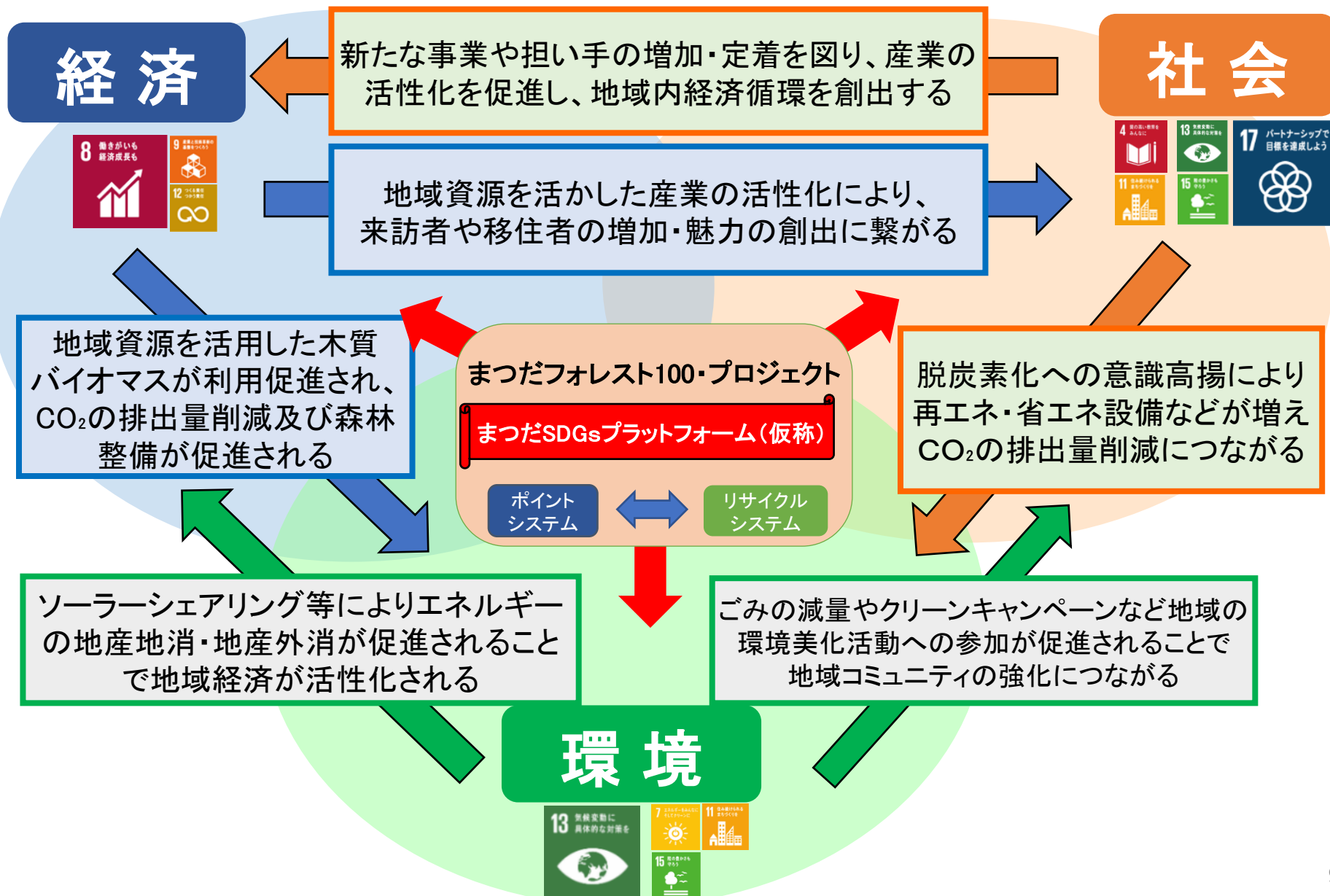
- 2050年カーボンニュートラルに向け「ボトルtoボトル」のリサイクル事業に取り組む先進的な民間企業と連携し廃棄物の分別・再資源化を進める
- 分別用回収BOX及びペットボトル回収機の設置、圧縮機の配布や民間のノウハウを活用した広報活動を積極的に行う



三側面の相乗効果



神奈川県
松田町



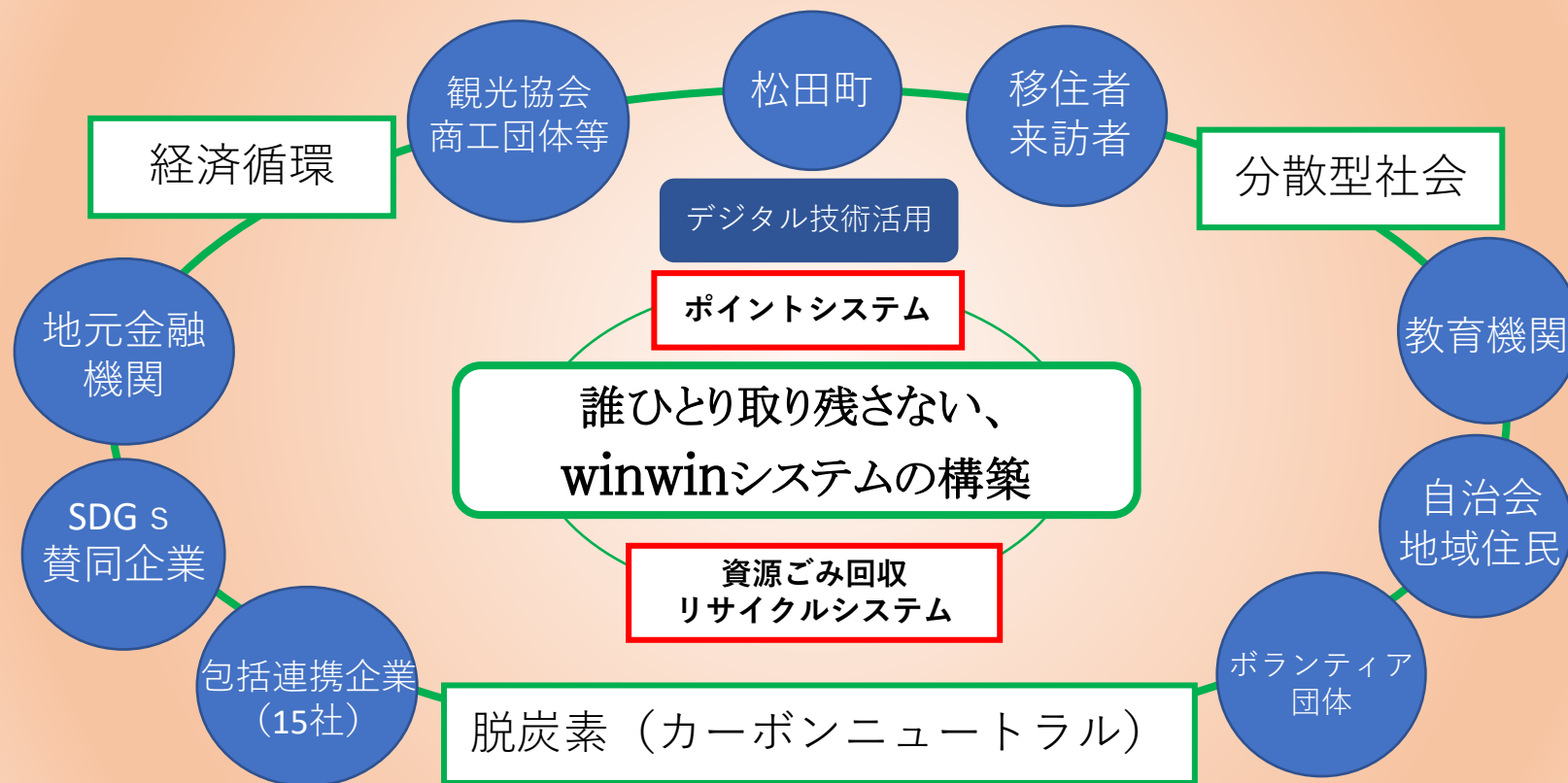


自律的好循環に向けた取り組み



神奈川県
松田町

まっだSDGsプラットフォーム（仮称）



- **役割分担や方向性を明確化し**、事業の実効性を高める
- ポイントシステムやリサイクルシステムによる参加への **きっかけづくり**を進める
- 教育機関や企業等と連携し **人材育成**を進める
- 産業の活性化による **地域の稼ぐ力**を強化、金融機関等による投資の機運醸成を図る



～豊かな杜づくりは100年後のキミへの贈り物～

